N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414
Lincoln NE 68506 USA
www.nsdapao.org

#1012 07.08.2022 (133)

ティナ・ルンド インタビュー

北欧抵抗運動のティナ・ルンドとの対話　　ドイツの社会民族主義団体「***Der Dritte Weg***」は、*北欧抵抗*運動のティナ・ルンドにインタビューを

Tina Lund

行いました。

この記事の本来の目的は、*北欧の抵抗運動の構造を*、その女性たちの活動に重点を置いて洞察することであった。　ティナとの詳細なインタビューと、その後のプライベートな会話の後、この記事は、あらゆる点で民族と国家のための闘いに身を捧げた女性の人生について、インスピレーションを与える個人的な洞察を与える役割を果たすことは当然であった。　彼女は、直接的で示唆に富む言葉、勇気を与える現場での逸話、そして議論の余地のない真実を提供しているのである。

1年以上前、ストックホルムで行われた*北欧抵抗運動の*デモで、　私はティナが特別な女性であることに気づきました。　彼女はオープンで温厚な人柄で、政治的な困難や社会の変化、ここ数十年で行われたゆっくりとした、しかし確実な再教育について、多くのことを語ってくれた。

ティナの考え方は、昔からとても伝統的、あるいは自然体であった。彼女にとって、国家社会主義は最も自然な生き方である。血統の保存と北欧文化の保存が基本である。　そのため、よくあることだが、彼女と同じ理想を持つ人たちを探し、連絡を取り合うことに興味を持つようになった。

彼女の活動は、1990年代初めのバルカン半島からの移民の第一波に端を発したものである。　1994年の選挙で、彼女は*スウェーデン民主党*で政治活動を行った。当時はまだ民族主義的な価値観と目標を持っていたが、その後の数年間で、体制に支配されたリベラル派の巣窟にますます変貌していくことになる。

祖国のための闘いは彼女をさらに駆り立て、1998年には政治活動家として*国家社会主義戦線に*参加し、ほとんどが男性の党員である同志の中で尊敬と認識を得るに至った。

子供が生まれると、エネルギッシュなティナにとって、数年間は静かな時間が流れていた。　母親としての役割に専念し、女性にとって最も美しい時間を満喫していた。　しかし、スウェーデンの政変が収まる気配がないため、彼女は新たな挑戦のときが来たと考えた。家族と活動家を結びつけながら、祖国のレジスタンスのために戦線に復帰することだ。祖国のための戦いは、スウェーデン人が言うように、ジェンダーの問題ではなく、私たち一人ひとりが持つ責任なのですから。

こうして、この並外れた女性は、5年ほど前に*北欧の抵抗*運動に自分の

居場所を見つけたのである。　　彼女の子どもたちは学校で疎外されているのか、と尋ねた。

「いいえ、そんなことはありません」とティナは言った。　　″クラスメートのお母さんが抵抗運動をしているのをカッコイイと思っている子も多いわ″と。

他の親との関係も、特に問題はない。　彼女が住んでいるスウェーデンの小さな町では、彼女は受け入れられている。

現在、ティナは*北欧抵抗運動の*中で自分のグループを率いており、長年の活動で得た同志からの尊敬を集めています。　　彼女は、男性たちをサポートするだけでなく、運動の日常業務に積極的に参加する女性たちを特に誇りに思っています。ビラまき、プラカードの設置、イベントでのケータリングなど、誰もが自分の能力に応じて貢献しています。

公の場で活動できない人は、他の方法で貢献することができます。その一例が、女性のために、女性によって作られたスウェーデン語のポッドキャスト、「*Radio Regeringen*」です。

北欧の抵抗運動における　　役割分担の問題は、一言で説明することができる。適材適所である。　　男性も女性も関係なく、誰もが自分の長所や興味に応じた任務を担っています。ティナさんは、唯一の例外があると言う。「デモでは、男性が盾を持つんです。　　伝統的な理想を伝えたいのです。″私たちは伝統的な価値観に立脚しているからです。

ティナはまた、自分のリーダーシップを可能性として捉えています。他の女性の模範となることで、″What I can do, you can do too. "というモットーに集約される現代の時代精神に立ち向かう勇気を与えているのです。　　そのため、彼女は団体のラジオ番組に出演し、公共活動の際に街頭でスウェーデン人に話しかけ、なぜ政治活動に関心を持つ女性が少ないのかを理解しようと努めています。

母親である彼女は、何度も何度も同じ問いを自分に投げかける。

受動的で安楽な生活を送り、より悪い世界を子供たちに残すことができるでしょうか？　　私たちは、何かを変えることができる最後の世代なのです。　　私たちの後は、子どもたち次第で、私たちよりも子どもたちの方がより困難になるのです。　　ストリートでの活動は、私たちの仕事のほんの一部に過ぎません。　　個人的な理由で裏方の仕事を好むメンバーもいますが、それでも全体の本質的な部分を担ってくれているのです。活動しない理由はないのです

ティナは、病的なボルシェビキの時代精神に凝り固まり、インスタグラムやフェイスブックなどで「個人」の個性を売り込むことに時間を費やしながら、やみくもにさまよう女性たちを正しく非難しているのです。

しかし、スウェーデンには、自分たちの手で問題を解決し、大衆から目立つことを恐れない少数の人々（男女とも）がいる。　新しいスウェーデン人」に嫌がらせを受けた女性、不健康な添加物や冷酷な工場農場に嫌気がさし、抵抗運動の記事でより自然なライフスタイルへの道を見つけた若者、澄んだ良心で妻と子供を夕方に送り出したい男性など、さまざまな人がそれぞれの方法で組織への道を見つけているのです。

ティナは自分の運動が変化をもたらすことを知っており、全体の一部であることを誇りに思っています。白人女性として、母親として、祖国スウェーデン、そして北部全体のために戦っているのです。

最後に、女性から女性へ、ティナに感謝したい。　彼女は単なるWeggefährtinではありません。　彼女のような女性は、パイオニアと呼ばれるにふさわしい。

出典：dailyarchive.org / nordicresistsancemovement.org

フレッドのオデッセイ

第3部
片思い

警備は厳重。　しかし、雰囲気はリラックスしていた。

質問はOKでした。　同じく回答も。″ノーコメント ″です。

みんなフレンドリーだった。　冗談を言ったり、からかったりするのはよくあることです。

当然のことながら、ヘルガに欲情したのは僕だけではなかった。　うまくはいかないが。

ある大物経営者と「深い精神的な関係」を持っているという噂があった。　そういうの知ってるよね。　大きな家。　使用人。　ボート。　太い銀行口座。　異国のペット　個人秘書　派手な服装　広大な庭　高級住宅街

だから、老人の子守という、ありがたくない仕事も我慢していたのかもしれない。　そのおかげで、彼女は街に出る機会を得たのだ。　″深い精神的な関係 ″を育む。　使用人の一人が老人を見ることができた。　必要ならオムツも替える

また、彼女の「プラトニック・フレンド」とその老人は親戚関係にあるという噂もあった。　兄弟かもしれない。　確かに、よく似ている。

兄弟喧嘩は、老人が「セミリタイア」した重役だと主張した理由の説明になる。　それに 自分の*意志*でここに住んでいる　*裁判所の命令じゃない*

一人の兄は、ビジネスで成功した人だった。　もう一人の兄は精神異常

者だった。　彼を監禁したのは当然だ　彼自身の利益のために。　そして、社会のために。　少なくとも彼らはまともだった　親切なスタッフとまともな施設に閉じ込めた。

老人であろうとなかろうと　彼は時々賢かった。　あまりにも賢い　彼は逃げるだろう！

夜中にサイレンが鳴り響くんだ。　お決まりのパターンですね。　警備員.　懐中電灯。　犬。

やがて大草原を彷徨っているところを発見される。

裸で。　四つんばいになって　満月に吠える。

時々口から泡を吹く。　泥にまみれて。　血に染まる。

そうか、彼は変人だったのか。　でも、それ以外はいい人でした。

旧ソ連邦の地下抵抗運動での冒険」なんていうのは、ほのぼのとした面白さだった。　まったく信じられない話だが。

確かに、第二次世界大戦中も生きていたような年配の方でした。　しかし、彼のアクセントは間違いなくフランス人ではなかった。

NSDAP/AOは世界最大です

国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物

多くの言語の何百冊もの本

多くの言語の何百ものウェブサイト

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!

www.third-reich-books.com